

顔の見える多職種連携研修会

大田区発！

# 認知症への備えを 考える シンポジウム

2018.1.21. (日)

13:00-15:30 参加費無料



会場 池上会館 集会室 (池上1-32-8)  
東急池上線『池上』駅 徒歩7分

申込締切 1月10日 (水) 必着

認知症に備える努力



ORANGE ACT  
オレンジアクト

主催：特定非営利活動法人オレンジアクト 後援：大田区、一般社団法人 蒲田医師会  
このシンポジウムは、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団より助成を受けています

大田区発！

# 認知症への備えを考えるシンポジウム

2018.1.21. (日) 13:00-15:30 参加費無料

厚生労働省研究班の発表によると、65歳以上の高齢者の4人に1人が認知症あるいは予備群と推計されています。今後も増え続けると言われている認知症。ここ大田区でも、認知症の人やその家族が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことができるよう、様々な支援やサービスの取り組みが始まっています。

大田区内で活動する多職種の参加者と共に、地域のサポート体制を学び、さらにスムーズな連携体制の構築に向けて、どのような地域としての備えができるか、一緒に考えてみませんか？

NPO法人オレンジアクトとは

認知症への3つの備え「倫理的備え」「社会的備え」「医療予防的備え」を啓発する活動を行っています。大田区3医師会方式という認知症チェックの方式を取り入れ開発した「認知症に備えるアプリ」は、大田区の区民向け相談ツールとしても、導入されています。

## 第1部：基調講演『地域で認知症に備える意義とは』

演題1 「大田区における認知症への取り組み」

中原 賢一（大田区福祉部部長）

演題2 「認知症とともにによりよく生きる地域に向けて」

堀田 聡子（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授／NPO法人オレンジアクト理事）

## 第2部：ワークショップ『みんなで認知症への備え方を考えよう』

「認知症予備軍の人やその家族に、知っておいてほしいことは？」  
「認知症を他人事ではなく、自分のこととして考えてもらうには？」  
地域に必要な備えについて、一緒に考えてみましょう！

【対象】 認知症への備えの取り組みに意欲のある  
医療・介護専門職、活動団体、個人

【定員】 150名（先着順）

【申込方法】 下記オンライン上の「申込フォーム」アドレスから  
必要事項を入力してお申し込みください。

<https://goo.gl/forms/DfW6IP4FLSobj5uw1>

※ 申込フォームからの入力ができない場合は、1.氏名（ふりがな）  
2.ご連絡先（電話番号またはメールアドレス） 3.ご所属を明記の上、  
info@orangeact.org まで、メールでお申し込みください。

【会場】 池上会館 集会室（池上1-32-8）  
東急池上線『池上』駅 徒歩7分



認知症に備える努力

**ORANGE ACT**

特定非営利活動法人オレンジアクト 〒146-0092 東京都大田区下丸子1-16-6